

9. ブドウベと病に対するホライズンドライフロアブルの適用			
[要約] ホライズンドライフロアブルはブドウベと病に対して高い防除効果がある。			
研究室名	病虫研究室	連絡先	0869-55-0271（内線 240）

[背景・ねらい]

幼果期のブドウベと病に効果の高い薬剤にはメトキシアクリレート系のアミスター10フロアブル、ストロビードライフロアブルがあるが、使用頻度が高いと薬剤耐性が発達する懸念がある。そこで、これらの薬剤とは作用機作が異なる新規化合物であるホライズンドライフロアブルの効果を検討する。

[成果の概要・特徴]

- 1 ホライズンドライフロアブル 2,500 倍液は平成 8、11 年の 2 か年の試験においてブドウベと病に対し、対照のジマンダイセン水和剤よりも優る高い防除効果が認められた（表 1）。両年とも葉，果房に薬害は認められなかった。

以上の結果、ホライズンドライフロアブルはブドウベと病に防除効果が高い。

[成果の活用面・留意点]

- 1 晩腐病、うどんこ病、すす点病には効果が低い。
- 2 薬剤耐性の発達を防ぐため、本剤の連用は避ける。
- 3 本剤の適正使用基準は収穫 21 日前までの 3 回以内である。
- 4 本剤散布による果粒の汚れや果粉の溶脱は少ない。

[具体的データ]

表1 ブドウべと病に対するホライズンドライフロアブルの防除効果

試験年次 (年)	供試薬剤名	希釈倍数	調査葉数	発病葉率	発病度	薬害
		(倍)		(%)		
8	ホライズンドライフロアブル	2、500	308	1.2	0.3	—
	ジマンダイセン水和剤	1、000	255	12.6	3.2	—
	無 散 布		289	88.8	30.4	
11	ホライズンドライフロアブル	2、500	372	1.8	0.4	—
	ジマンダイセン水和剤	1、000	436	3.1	0.8	—
	無 散 布		258	94.4	28.2	

供試品種：ネオ・マスカット、トンネル被覆栽培。

散布月日：平成8年は6月3、12、22日に散布し、7月3日に調査。平成11年は5月31日、6月10、21日に散布し、7月6日に調査。

[その他]

試験研究課題・事業名：果樹主要病害虫の効率的防除薬剤の実用化試験

予算区分：県単

研究期間：平成8，11年度

関連情報等：なし